

1 くまもと「親の学び」プログラム次世代編Ⅱ

じりつ【自律・自立】を育む コミュニケーションプログラムとは？

『じりつ』を育むコミュニケーションプログラムは、生徒たちを対象とした『じりつ』『コミュニケーション』をテーマとした参加体験型の講座（活動）を進行（展開）するためのプログラムです。

「まもなく大人になる」生徒たちが、「大人になったときに」「親になったときに」という視点をベースに、そのときに必要な【じりつ〈自律・自立〉】と【コミュニケーション】に着目してプログラムを構成しました。

また、これまでにあった「くまもと『親の学び』プログラム次世代編 自立を育むコミュニケーションプログラム」の続編でもあり、今回、新たに13のプログラムを作成しました。

このプログラムでは、管理職を始め、学級担任や養護教諭、部活動指導者などすべての教職員やPTA役員など、生徒にかかわっている方々がファシリテーター（「親の学び」講座では「進行役」と言っています。）となることができます。

ファシリテーターは、一方通行で進行するのではなく、伝えたいねらいやメッセージを明確にしつつ、生徒の考えを引き出し、気づきをサポートし、生徒と一緒に講座をつくりあげていく（展開していく）役割を担います。

このプログラムを通して、生徒同士が互いにつながり、『じりつ』に向けて考えていこうとする一つの契機となれば幸いです。

ホームルーム活動や学級活動、家庭科、保健体育等の授業、あるいは集団宿泊研修や職場体験等の学校行事の機会に、このプログラムを活用していただきたいと思います。



本解説書では、プログラムの基本となる展開例等を示していますので、活用にあたっては、講座や教科のねらい、人数、時間等に応じて、プログラムの一部を使ったり、授業の前半に使ったりする等のアレンジを加えながら活用してください。

今後は、必要に応じて適宜増補したり実践例を紹介したりし、より充実した解説書にしていきます。